



春日井ロータリークラブ

2023-24

Rotary Club of KASUGAI



世界に希望を生み出そう

クラブテーマ

「CHALLENGE FOR CHANGE」

会 長：古屋 義夫 事務局：春日井市鳥居松町 5-45
 副 会 長：加藤久仁明 TEL：0568-81-8498
 副 会 長：野浪 正毅 FAX：0568-82-0265
 幹 事：速水 敬志 E-mail：ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp
 会報委員長：岡本 博貴 HP：https://www.kasugai-rc.org/
 例会場：ホテルプラザ勝川



2024年2月16日(金) 2581回 (2月第3例会)

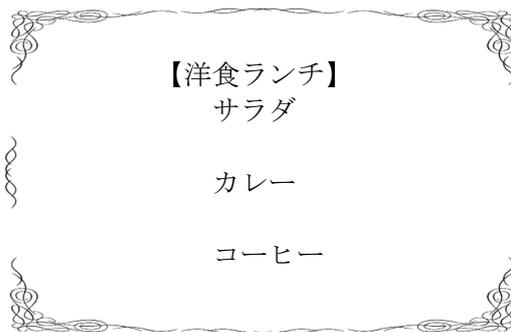
本日のプログラム

	司会	会場委員会
・点鐘	会長	古屋 義夫君
・ROTARY SONG	「日も風も星も」	
・今月の歌	「雪」	
・ビジター・ゲスト紹介	会長	古屋 義夫君
春日井市消防本部消防士長		浅野 太貴様
春日井市消防本部消防士		神村 航平様
・委員会報告		
・会長挨拶	会長	古屋 義夫君
・クラブフォーラム 社会奉仕委員会		
・幹事報告	幹事	速水 敬志君
・点鐘	会長	古屋 義夫君

今月の歌

「雪」

雪やこんこ 霰やこんこ
 降っては 降っては
 ずんずん積もる
 山も野原も 綿帽子かぶり
 枯木残らず 花が咲く



例会予定	2月23日(金)	2月25日(日)	3月1日(金)	3月8日(金)
	休会	例会変更 東尾張分区 IM 13:00～ ヒルトン名古屋	休会	第9回理事会 16:45～ 例会 18:00～ 祝福 卓話 2024-25年度地区大会実施計画説明 加藤 久仁明 成瀬 浩康

先週の記録

会長挨拶

会長 古屋 義夫君

皆様こんにちは。先日、東尾張分区の会長幹事会がありました。春日井ロータリークラブからは古屋と速水幹事が出席をさせていただきました。そこで12のロータリークラブから7か月間の活動の報告があったのですがクラブによって事業にかなりの違いがあり面白いなと感じたことが数多くございましたのでお話をさせていただきたいと思っております。

まず驚いたのが能登半島沖地震の被災地支援に単独支援として500万円の支援をしたロータリークラブがあったことです。善意は金額の大小だけではないことは理解していますがそれにしても凄いのではないでしょうか？これを実践したロータリークラブは瀬戸北ロータリークラブです。クラブの規模としては私達春日井ロータリークラブと同じ規模か或いは失礼ながら少々小さいくらいではないかと思っております。どのようにしてこれを実現されたのかは当日時間がなくてお伺いできませんでしたが、次にお会いするチャンスには詳しく教えていただきたいと思います。

また瀬戸北ロータリークラブは、このわずか7か月間で新入会員を14名以上入会させた実績を持つ凄腕ロータリークラブなだけに何か秘訣があるのかもしれない。

また瀬戸RCさんは、驚くことに毎月のように親睦の小旅行を計画していらっしゃるようです。

またモーニングミーティングという名前の朝食会を頻繁にやっっているようです。私もいろいろと変なことを思いつく方ですが「モーニングミーティング」とは考えついたこともありませんでした。内容をお伺いして本当に驚いたのですが…単純にデニースで朝食を一緒に食べてただお喋りするだけだそうです。しかしエ〜でも成程ね。と思ったのがモーニング例会をやり続けるとお互いに親密になって中々良いですよ…是非試してみてくださいとのことでした。

私自身は、他のクラブの事業や過去の取組に合わせる事が必ずしも良いこととは全く思っておりませんし、また従前と同じならば間違いないだろうとも思っていないのですが、このような場で情報を収集して楽しくて良いところはドンドン採り入れていくという柔軟な姿勢でクラブ運営を考えるのも良いのかもしれないと感じさせる有意義な会長幹事会でしたのでご皆様にご報告をさせていただきます。

今日もどうぞよろしく申し上げます。

幹事報告

幹事 速水 敬志君

ベテラン会員の野浪くん、日比くん卓話ありがとうございました。奉仕活動を通したお話、大変勉強になりました。私も奉仕活動の原点は1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災でした。当時JCの現役で何度も足を運んだ事を思い起こしました。野浪さん、日比さん、卓話ありがとうございました。

それでは次週予告です。16日は社会奉仕委員会の消防による応急手当講習です。23日は祝日で休会です。翌週は例会変更で25日日曜日に東尾張分区IMがヒルトン名古屋にて開催されます。時間は13:30からです。皆さん多数の参加をお待ち致しております。翌週3月1日は休会です。8日は例会に先立ちまして理事役員会があります。8日は夜間例会となりますので理事会開始時刻は16:45からですので、お間違いのないようご参集ください。例会もお昼ではなく18時からですのでお間違いのないようお願いいたします。プログラムは2024-25年度地区大会実施計画を加藤久仁明委員長・成瀬浩康幹事よりの説明です。以上、幹事報告でした。

出席報告

委員長 長谷川久幸君

会員	52名	出席34名	出席率65.3%
先々週の修正出席		出席50名	出席率96.1%

ニコボックス報告

委員長 長谷川久幸君

- 野浪 正毅君 日比 雄将君 両名 古屋 義夫君の卓話を楽しみにしております。
- 野浪さん 日比さんの卓話が聞ける喜びで！！ 速水 敬志君
- たくわをします。 野浪 正毅君
- 多治見駅前にカフェが無事にOPENできました。お近くに来られた際には是非、美味しいコーヒーを飲みにお立ち寄りください。 岩村 幸正君
- 野浪先生、日比先生 笑いのある卓話を楽しみにしています 加藤久仁明君
- 野浪、日比 両先生の卓話を聞く喜びで。 小川 長君
- 地区補助金セミナー出席して来ました。 青山 博徳君
- 超真面目なお2人のお話、期待します。 松尾 隆徳君
- 本日、甲子園出場のため申し訳ありませんが、欠席します。あっ甲子園といっても2/14(水)にopenするステーキあさくまのステーキ甲子園です。ステーキ500g ライス200g コーンスープ150g ポテト200gの早食いリレーです。応援お願いします(笑) 三上 努君

○卓話楽しみにしています。

大西 信之君	風岡 明憲君	加藤 茂君
加藤 宗生君	川瀬 治通君	北 健司君
久米 正俊君	近藤 太門君	芝田 貴之君
清水 勲君	鈴木 克幸君	水谷 高広君
宅間 秀順君	藤川 誠二君	成瀬 浩康君
場々大刀雄君	菱川 一馬君	矢野 義博君
和田 了司君		

○ご協力ありがとうございます。

出席・ニコボックス委員会

卓話

野浪 正毅君

ヴィノグラドフを読んで考える（ロータリアンとしてのヒント）

1913年に初版が出されたオックスフォード大学教授のサー・ポール・ヴィノグラドフが、一般読者のために法の本質を簡潔に説いたとされる「法における常識」(COMMON SENSE IN LAW)を読んで考えたことをお話しします。(岩波文庫 末延三次・伊藤正己訳)

◎論述の要旨（頭書の本の55頁まで）

○ブラックストーンは1753年オックスフォード大学でイギリス法での講義をはじめるにあたりつぎのようにのべた。

「紳士にすぐれた地位と余暇とが与えられているのは、紳士自身の為ばかりではなく、それが一般民衆の利益にもなるからである。ところが、紳士がもし法についてのある程度の知識を身につけていないとすれば、紳士は、人生のどのような舞台においても、民衆に対する義務及び自分自身に対する義務の、いずれをも適切に履行することができないのである。」と。

○紳士 (gentlemen) とは、「市民としての権利を行使し義務を履行しなければならない、教養ある人々。」

○法の目的の第一は行為規範、すなわち、「人はいかなることをしなければならないか、いかなることをしてはならないか。」である。

○イギリスの哲学者・法理学者ホッブスの説（イギリスの法学者オースティンの公式）

「法は、主権者（君主とか国会）によって課せられる行為規範である。」

○スイスの学者 ドゥ・ロルムの言葉（イギリスの国会について）「それは男を女にし女を男にする以外のことはいかなることでもなしうる。」

○ローマの法学者ウルピアヌスの正義の定義「立派に生活し、汝の隣人を害せず、各人に彼の分を与えること。」

◎ 思いめぐらされる事々紳士とは？ 男とは？

淑女とは？ 女とは？

紳士（男）と淑女（女）との関係はどう認識すべきか？ 法とは？ 正義とは？ 等々

卓話

日比 雄将君

本日は、卓話をさせていただきますことに感謝申し上げます。

さて、ロータリーを語るうえで初めて出てくる言葉が「奉仕」だと思います。その実践として明日から2泊3日で、能登半島にてボランティア活動を行う予定です。これから被災地に赴くため、私自身が見たもの感じたものをお話しすることが出来ませんが、1点目として愛知県が展開している支援活動、2点目として愛知県民の防災意識や県が整備を進める基幹的広域防災拠点についてお話をしたいと思います。

まず、愛知県が行っている支援活動を紹介します。救助活動については、緊急消防援助隊として県内各地の消防隊が1/1に1次隊として85隊336人出発、2/3までにのべ614隊2,353人が従事しました。

また、愛知県が石川県志賀町の対口支援団体に決定したことを受け、避難所運営業務および被災家屋の被害認定業務の支援として県及び県内市町村から職員を派遣しています。被害認定が行われると罹災証明書が交付され、各種被災者支援策が受けられるため、大変重要な業務支援です。

「対口支援」という言葉は聞き慣れないかと思います。総務省の「応急対策職員派遣制度」に基づき、都道府県又は政令指定都市を原則1対1で被災市区町村に割り当て、支援を行うものとされており、愛知県は志賀町の支援に入ることが決定されました。

そこで、私も志賀町を中心にボランティア活動に入り、すでに現地で活動をされているNPO法人愛知ネットさんの指示のもと避難所の炊き出しお手伝いや被災家屋等の片付け、撤去などを行う予定です。

皆様の会社の従業員の方やお知り合いの方でボランティア活動をしたい、という方もいらっしゃるのではないかと思います。愛知県では、ボランティア活動の活性化に向け、活動に要する経費を助成する制度を2021年に創設しました。概要は5人以上で活動する団体・グループに対し、ボランティア活動に要した交通費や宿泊費などを対象に上限20万円の助成を行います。そして、この制度の財源は皆様からの寄附で成り立っており、個人の方はふるさと納税としての寄附控除の優遇税制を受けられ、法人の場合は全額損金算入となります。

2点目について、まずは県民の防災意識についてお話しします。愛知県では、県民の防災に関する意識調査を実施しており、昨年秋に実施した調査の結果、南海トラフ地震などの大規模災害に関心がある人の割合は92.7%でした。一方で、南海トラフ沿いで異常な現象が観測された際に発表される南海トラフ地震臨時情報について「知っている」と回答した人は23.1%、また地域の自主防災活動に参加したことがある人の割合は33.1%だったほか、非常用の食料を3日以上備蓄している人は42.4%、飲料水を3日以上備蓄している人は50.6%でした。県では

この結果から、県民意識として「災害への関心は高いものの、必ずしも命を守る行動にまでつながっていない」と考え、今後、防災対策などの啓発活動をさらに取り組んでいくことにしています。

次に、愛知県が現在整備している基幹的広域防災拠点について話したいと思います。基幹的広域防災拠点とは、大規模広域災害時に国と都道府県が協力し、迅速かつ的確に災害対策活動を展開するための場所で、県は2020年、県営名古屋空港隣接地に整備することを決定しました。

平常時のコンセプトは「防災人材育成の聖地・地域に愛される防災公園」で消防学校のほか、防災啓発や防災ビジネスの拠点、広場や賑わい施設が設けられる一方、災害時には拠点本部、自衛隊・警察・消防のベースキャンプ、支援物資エリアなど後方支援拠点となる予定です。災害はいつ起こるかわかりません。一日も早い運用開始を目指して取り組みます。



委員会報告
出席・ニコボックス委員会 矢野 義博君



委員会報告
幹事 速水 敬志君



点鐘 会長 古屋 義夫君



卓話 野浪 正毅君



卓話 日比 雄将君



幹事報告 幹事 速水 敬志君